

携を図り、早期の供用開始に向けて取り組んでいきます。

◆長生グリーンライン

県により整備区間7.2kmのうち、6.5kmが事業実施されています。現在、長南町坂本地先で改良工事等が進められ、茂原区間は、野牛・台田・立木・三ヶ谷地区において地元説明会が行われ、用地交渉が進められています。

◆広域幹線道路の整備促進

現在、県道茂原環状線について、主要地方道千葉茂原線から国道128号腰当交差点間の整備が進められています。が、用地取得の難航から、整備が進んでいないところも一部あります。

本道路は圏央道の開通以降、バイパス機能としての重要性を増していますので、早期整備に向け、今後とも県と協力してまいります。



◆農林行政

先般、TPP関連政策大綱

が打ち出されたところですが、今回の合意は、幅広い分野に影響を及ぼすとともに、中山間地域だけでなく、相対的に条件が整った農業地域にも打撃を与えるのではないかと心配しています。

このような中、米政策については、平成30年度産からを目途とした生産調整の廃止を控え、主食用米から飼料米への転換など自主的な需給調整への取り組みが進んでいます。また、引き続き、需要に応じた米の生産を推進します。

また、経営所得安定対策として、転作物との組み合わせが重要であると考えていますので、茂原市地域農業再生協議会をはじめ、関係機関と連携を図りながら、食料自給力向上に向けた施策の推進を図ります。

◆強い農業を推進するための経営基盤強化対策

担い手への農地集積・集約化や耕作放棄地の解消を進めるため、市全域を一つの区域として、地域の中心となる経営体の育成や新規就農者の確保、農地集積等のあり方を定めた「人・農地プラン」を、

昨年12月に策定しました。今後は、農地中間管理機構や農業委員会が所掌する農地の賃貸借などを推進していきます。

◆有害鳥獣対策事業

平成27年度から民間警備会社との連携により取り組んでいますが、引き続き、生態系の調査や遠隔監視による捕獲を実施し、体制の強化を図ります。

また、捕獲による農作物への被害軽減と併せて、農地への侵入を防止するため、防護柵の設置費用を助成することにより、農地の保全を促進します。



▲遠隔監視によるイノシシの捕獲

・本納駅東地区まちづくり整備事業(測量業務委託料等) 1101万円

・組合土地区画整理事業(賦課金徴収事務)(インターネット公売手数料、不動産鑑定料等) 682万円

・道路網の整備
・道路橋梁管理費 3564万円

・道路橋梁維持補修費 3億1940万円

・(仮称)茂原長柄スマートIC設置事業 1億9948万円

・街路事業費 1億1975万円

・バス輸送の整備
・地域公共交通運行事業(市民バス、デマンド交通運行事業等) 2343万円

・資源の有効利用の推進
・住宅用省エネルギー設備等促進事業 580万円

・農村地域防災減災事業(清水地区の排水機場基本設計業務委託) 1138万円

・農用地の保全
・有害鳥獣駆除事業(うち野生獣防護柵設置事業補助金27万円) 1270万円

・新たな企業・産業の導入
・企業立地促進事業(茂原にはる工業団地負担金等) 9億4694万円

・経営の近代化促進
・中小企業資金融資事業(利用者への一部補助、融資預託) 5億5056万円

・中小企業者等振興総合支援事業(展示会出席、規格認証等を行う中小企業者に対するの補助金等) 636万円

・起業・創業支援事業(市内での創業者に対しての補助金、セミナー開催等) 247万円

・観光資源の整備
・茂原七夕まつり事業 1359万円

産業振興

生産基盤の整備

- ・用排水施設整備事業 4億200万円
- ・用排水施設維持管理費 4681万円

